



# 2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <https://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 雄太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

半期報告書提出予定日 2024年8月9日

配当支払開始予定日

2024年9月9日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	4,990	0.8	685	13.0	681	13.5	453	14.4
2023年12月期中間期	4,953	3.9	787	13.9	788	14.8	529	14.6

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 484百万円 ( 9.4%) 2023年12月期中間期 534百万円 ( 15.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	66.54	
2023年12月期中間期	77.71	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	10,895	8,543	78.4
2023年12月期	10,767	8,291	77.0

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 8,543百万円 2023年12月期 8,291百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		32.00		34.00	66.00
2024年12月期(予想)		34.00		44.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年12月期(予想)の期末配当金につきましては、創立45周年記念配当10円を含んでおります。

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	2.9	1,443	1.5	1,434	2.3	966	3.2	141.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	6,924,400 株	2023年12月期	6,924,400 株
--------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2024年12月期中間期	104,703 株	2023年12月期	104,446 株
--------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(中間期)

2024年12月期中間期	6,819,813 株	2023年12月期中間期	6,820,056 株
--------------	-------------	--------------	-------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の伸長等により、緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東地域情勢の緊迫化、原油をはじめとする資源価格や原材料の高騰、中国景気の停滞、円安の進行等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、技術情報ソリューション事業、FAロボットソリューション事業、デジタルソリューション事業の3つの事業を展開し、各事業のノウハウを組み合わせることで取引先企業における製品開発から試験・解析、製造、販売、サービス保守に至る全工程をサポートしております。また、長年の取引実績を持つ自動車業界をはじめFA機器、産業機器、医療機器、情報機器、教育関連等様々な業界に向けてのサービスを提供しております。

当中間連結会計期間の業績は、前年同期比で売上高は技術情報ソリューション事業とFAロボットソリューション事業とが減収となった一方で、デジタルソリューション事業が増収となったことから、増収となったものの、利益面では営業支援費や求人費の増加によって販売管理費が対前年同期比増となったこと等から、減益となりました。

具体的な業績の数値は、次のとおりであります。

売上高	4,990百万円	(前年同期比	0.8%増)
営業利益	685百万円	(同上	13.0%減)
経常利益	681百万円	(同上	13.5%減)
親会社株主に帰属する 中間純利益	453百万円	(同上	14.4%減)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。(各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。)

なお、当中間連結会計期間より報告セグメントを変更しており、前年同期の比較および分析は、変更後の区分に基づいて記載しております。

#### (技術情報ソリューション事業)

顧客企業での新製品開発計画の変更等の影響を受けたこと、営業支援費等の販売管理費が増加したことにより、売上高は1,737百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益は509百万円(前年同期比15.6%減)の減収減益となりました。

#### (FAロボットソリューション事業)

教育関連における大型案件の入札が当連結会計年度の下半期に集中していること等により、売上高は464百万円(前年同期比19.1%減)、営業利益は58百万円(前年同期比44.0%減)の減収減益となりました。

#### (デジタルソリューション事業)

前連結会計年度から引続き、システム開発案件やITインフラ案件の売上が好調だったこと、作業効率が向上したこと等により、売上高は2,820百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は479百万円(前年同期比12.4%増)の増収増益となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末の総資産は10,895百万円であり、前連結会計年度末より128百万円増加しております。内訳としては、流動資産は39百万円増加の7,682百万円、固定資産は88百万円増加の3,212百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金が819百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が712百万円、電子記録債権が45百万円減少したこと等であります。また、固定資産の変動の主な要因は、投資その他の資産が142百万円(主に繰延税金資産)増加した一方で、有形固定資産が44百万円減少したこと等であります。有形固定資産の減少は、主に減価償却によるものであります。

#### (負債)

負債は前連結会計年度末より123百万円減少し、2,351百万円となりました。内訳は流動負債が2,336百万円、固定負債が15百万円であり、流動負債は、前連結会計年度末より125百万円減少しております。流動負債の変動の主な要因は、その他(主に未払費用)が398百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が273百万円、短期借入金金が430百万円減少したこと等であります。

## (純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は8,543百万円であり、前連結会計年度末より251百万円増加しております。その要因は、主に利益剰余金が221百万円増加したためであり、これは親会社株主に帰属する中間純利益453百万円の計上と配当金支払231百万円によるものであります。

## 〔キャッシュ・フローの状況〕

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動では1,506百万円を獲得し、投資活動で29百万円、財務活動で662百万円の資金を要しました。これにより資金は、前連結会計年度末より817百万円増加し、4,579百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間においては、営業活動で1,506百万円（前年同期比611百万円増）の資金を獲得しました。これは、税金等調整前中間純利益672百万円（前年同期比115百万円減）、売上債権の減少759百万円（前年同期比482百万円増）、その他流動負債（主に未払費用）の増加390百万円（前年同期比130百万円増）等の資金の増加があった一方で、仕入債務の減少274百万円（前年同期は仕入債務の増加45百万円）、法人税等の支払額174百万円（前年同期比176百万円減）等の資金の減少があったことが主な要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動では、有形固定資産の取得による支出15百万円（前年同期比7百万円減）、無形固定資産の取得による支出12百万円（前年同期比0百万円減）があったこと等により、29百万円の資金を支出（前年同期比8百万円減）しました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動としては、短期借入金の減少430百万円（前年同期比430百万円増）、配当金の支払額232百万円（前年同期比27百万円増）があったこと等により、662百万円（前年同期比457百万円増）の資金を要しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月13日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## 3. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,846,196	4,665,420
受取手形、売掛金及び契約資産	※ 2,857,919	2,145,437
電子記録債権	※ 257,372	※ 211,755
商品及び製品	92,451	80,593
仕掛品	231,955	269,601
原材料及び貯蔵品	18,393	17,086
その他	343,993	295,176
貸倒引当金	△4,545	△2,080
流動資産合計	7,643,737	7,682,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,457,392	1,418,754
土地	945,794	945,130
その他(純額)	122,185	117,438
有形固定資産合計	2,525,372	2,481,324
無形固定資産		
のれん	42,220	33,776
その他	80,854	79,844
無形固定資産合計	123,075	113,620
投資その他の資産		
その他	478,178	621,540
貸倒引当金	△2,850	△3,950
投資その他の資産合計	475,328	617,590
固定資産合計	3,123,775	3,212,534
資産合計	10,767,513	10,895,525
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,213	273,685
短期借入金	700,000	270,000
未払金	367,987	325,568
未払法人税等	202,856	373,681
未払消費税等	133,212	146,881
賞与引当金	184,022	195,455
受注損失引当金	8,536	3,539
製品保証引当金	2,034	33,162
その他	315,639	714,516
流動負債合計	2,461,503	2,336,490
固定負債		
退職給付に係る負債	9,545	10,633
資産除去債務	4,443	4,443
その他	114	76
固定負債合計	14,103	15,152
負債合計	2,475,607	2,351,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	6,162,775	6,384,734
自己株式	△26,107	△26,553
株主資本合計	8,248,764	8,470,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,426	62,452
為替換算調整勘定	7,714	11,153
その他の包括利益累計額合計	43,141	73,605
純資産合計	8,291,905	8,543,882
負債純資産合計	10,767,513	10,895,525

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,953,035	4,990,432
売上原価	3,309,754	3,395,603
売上総利益	1,643,280	1,594,828
販売費及び一般管理費	※ 855,762	※ 909,693
営業利益	787,518	685,135
営業外収益		
受取利息	15	19
受取配当金	1,690	2,260
為替差益	586	—
売電収入	1,108	812
助成金収入	2,132	—
その他	1,626	1,963
営業外収益合計	7,159	5,055
営業外費用		
支払利息	1,029	1,581
支払融資手数料	3,916	3,939
為替差損	—	1,627
減価償却費	824	832
その他	286	445
営業外費用合計	6,056	8,426
経常利益	788,621	681,765
特別利益		
固定資産売却益	—	209
特別利益合計	—	209
特別損失		
固定資産除却損	290	1,399
減損損失	—	1,782
会員権評価損	—	5,100
貸倒引当金繰入額	—	1,100
特別損失合計	290	9,381
税金等調整前中間純利益	788,330	672,593
法人税、住民税及び事業税	351,347	342,010
法人税等調整額	△93,012	△123,254
法人税等合計	258,335	218,755
中間純利益	529,995	453,837
親会社株主に帰属する中間純利益	529,995	453,837

## (中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	529,995	453,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	590	27,025
為替換算調整勘定	3,776	3,438
その他の包括利益合計	4,366	30,463
中間包括利益	534,362	484,300
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	534,362	484,300
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	788,330	672,593
減価償却費	74,463	70,012
減損損失	—	1,782
会員権評価損	—	5,100
長期前払費用償却額	29	16
のれん償却額	8,444	8,444
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60	△1,481
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,200	11,433
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	640	602
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,961	△4,997
受取利息及び受取配当金	△1,705	△2,280
支払利息	1,029	1,581
固定資産売却損益 (△は益)	—	△209
固定資産除却損	290	1,399
助成金収入	△2,132	—
売上債権の増減額 (△は増加)	276,881	759,624
棚卸資産の増減額 (△は増加)	15,555	△23,862
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△123,770	△100,590
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,854	△274,831
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	259,365	390,334
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△179,060	89,893
その他	△1,239	264
小計	1,167,154	1,604,830
利息及び配当金の受取額	1,705	2,280
利息の支払額	△1,079	△1,443
助成金の受取額	2,132	—
法人税等の支払額	△351,560	△174,751
法人税等の還付額	76,208	75,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	894,561	1,506,003
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△102,000	△104,000
定期預金の払戻による収入	102,000	102,000
有形固定資産の取得による支出	△23,236	△15,402
有形固定資産の売却による収入	—	209
無形固定資産の取得による支出	△13,363	△12,478
その他	△1,763	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,362	△29,893
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△430,000
自己株式の取得による支出	—	△446
配当金の支払額	△204,639	△232,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,639	△662,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,765	3,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	657,324	817,223
現金及び現金同等物の期首残高	3,103,171	3,762,196
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 3,760,495	※ 4,579,420

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額
	技術情報ソリューション事業	F Aロボットソリューション事業	デジタルソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,786,429	571,331	2,595,275	4,953,035	—	4,953,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	802	3,256	19,393	23,451	(23,451)	—
計	1,787,231	574,587	2,614,668	4,976,486	(23,451)	4,953,035
セグメント利益	603,620	104,420	426,415	1,134,455	(346,937)	787,518

(注) 1. セグメント利益調整額△346,937千円には、セグメント間取引消去4,506千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△351,444千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額
	技術情報ソリューション事業	F Aロボットソリューション事業	デジタルソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,730,900	464,547	2,794,984	4,990,432	—	4,990,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,196	24	25,278	31,498	(31,498)	—
計	1,737,096	464,571	2,820,262	5,021,931	(31,498)	4,990,432
セグメント利益	509,628	58,469	479,411	1,047,509	(362,373)	685,135

(注) 1. セグメント利益調整額△362,373千円には、セグメント間取引消去4,779千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△367,153千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメント変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

従来、セグメント情報における報告セグメントについては、「ドキュメンテーション事業」「エンジニアリング事業」「技術システム事業」の3区分としておりましたが、当中間連結会計期間より「技術情報ソリューション事業」「F Aロボットソリューション事業」「デジタルソリューション事業」の3区分に変更しております。

また、従来の「エンジニアリング事業」に含まれていたCDS株式会社のエンジニアリング事業は、変更後の区分では「技術情報ソリューション事業」へ移管しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デジタルソリューション事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては1,782千円であります。